

【TC2台本】

仮役で入れてあります。
やってみて入れ替える場合があります。

ちやかいびより
茶会日和

登場人物

(仮配役)

美紗子

(伊藤さん)

*お茶たち (擬人化)

玄米茶

(大岡さん)

ほうじ茶

(一柳さん)

紅茶

(米倉さん)

ジャスミン茶

(山口さん)

玉露

(戸田さん)

ウーロン茶

(大橋さん)

黒豆茶

(田村さん)

舞台… 田舎の一軒家。古民家の温かい雰囲気。

舞台下手には、ちゃぶ台と座布団。

美紗子がゆっくりと下手から登場。ちゃぶ台に座り、お茶を淹れようとするが、急須に手を伸ばしたまま、動きを止める。

美紗子

…いかんねえ。どうにも、手が止まっちゃう。

美紗子は急須に触れることなく、急須の横に置かれた茶葉缶に目をやる。静かに溜め息。

美紗子

(独り言のように)このお茶…あんたが好きだったねえ。よく、一緒に淹れた。

間

美紗子

茶の間が賑やかだった頃、喧嘩もしたけど…思い返せば、笑った思い出ばかりだ。…でも、もう…お茶を淹れても、話し相手がいな
いんじやねえ。

恵理は…元気にやってみただけだね。…ようやく二人で、ゆっくりできると思っただけに…。

美紗子、静かに立ち上がる。

美紗子

茶葉も…もう古くなっちゃったかねえ…。

美紗子は寂しげな表情で、舞台袖へとゆっくりと去っていく。

茶棚会議

玉露

…ああ！またお湿りだ…！このままでは、我が繊細な茶葉が…！湿気
て、腐って、虫に喰われて…高級茶の誇りが、土に還る…！もはやこ
れまで…！

紅茶

(優雅に扇子で仰ぎながら)あらやだ玉露さん。朝からお通夜みたい。
そんなに陰気くさいと、余計に湿気ますわよ。湿気も気品で跳ね返
す、それがダーズリン流ですの。

玉露

“英国”生まれが何を言うか。お主には、侘び寂びの心がない！

紅茶

わからなくて結構ですこと！わたくし、アフタヌーンティー専門の紅茶でございますから。この香り…この品格…ああ、三段トレイが恋しい…。

ジャスミン茶

三段トレイより、自分の三段腹気にしたら？

紅茶

なんですって？

ジャスミン茶

必死で貴族アピールしてて、痛いんですけど。

紅茶

この小娘…！

ジャスミン茶

(くるつと一回転し) 私の香り、感じてごらん下さい。アジアの恋風、ジャスミン茶よ？

男の茶葉たち、香りにうっとり

ウーロン茶

(うっとり) オオ、マルデ、オ花畑…。

紅茶

そんなの、安っぽい芳香剤よ！

ジャスミン茶

なんですって？もう一回言ってみなさい！この出瀬らしが！

紅茶

何度でも言ってるわよ！トイレの芳香剤女！

紅茶・ジャスミン茶

キイイイ…！！！！

玉露

気品のカケラもない…。

ほうじ茶

はいはい、そこまで。私みたいに、焦げてるけど気にしない系のお茶もいるんだからさー。

紅茶

アナタにはわからなくてよ！

玄米茶

なんてこと言うの！ほうじ茶さんはね、元は緑茶だったんだよ！焼かれて焦げて、それでも美味しくなった…人生の先輩だよ！

ほうじ茶

昔の話はいいじゃないか。玄米さん。

玄米茶

(元氣いっぱい飛び出してくる) 焦げてるとか湿気てるとか言ってる場合じゃないってば！美紗子、すっごく寂しそうだっ！私たち、なんとかしなきゃ！

ウーロン茶

美紗子、ボケた。ワタシワカル。中国四千年、ウーロン茶、嘘ツカナイ。

ジャスミン茶

お黙り！中華街のお土産物の分際で！

ウーロン茶

ヒドイ…ソナダカラ、日本カラ、パンダ、イナクナル。

ジャスミン茶

パンダは関係ないでしょ！

黒豆茶

(訛りながら)…美紗子…お茶、飲んでけろ…。

紅茶

ねえ、で、この人何者なの？

黒豆茶

(訛りながら) ねぶた祭りは…生で見た方が…迫力あんだ…。

玄米茶

どこからか、お中元で送られてきたみたいだけど…何茶なんだか。

黒豆茶 黒豆…だ。

ほうじ茶 あれ、黒豆茶さん！？あんた、黒豆茶なのか？

玉露 どうりで、独特な香りがすると思った！

ジャスミン茶 確かに！こんな香りのお茶、初めてだわ。

玄米茶 (おにぎりを頬張りながら) それより、美紗子のことを考えよ！？なんとかしなきゃ！

紅茶 ちよつと玄米さん！おにぎり食べないでよ！

玄米茶 お腹減っちゃうとダメなの私ー！

ジャスミン茶 (目を閉じて、詩的に愛は、いつか花開くもの。希望は、いつか心に届く香り…。私たちは、ただ待つだけ。

紅茶 何それ！？

ほうじ茶 落ち着いて！ここは、美紗子の茶棚。ずっと私たちが寄り添ってきた場所だろ。今：きつと寂しいんだよ。あの人の心、温め直そうよ！

玉露 うむ。待つばかりでは、茶の香りも、思いも届かぬ。今こそ、拙者らの真価、示すべき時！

ウーロン茶 美紗子、元気出ス、出スネ！

玄米茶 よし！アピールタイムね！センター、もらったー！

紅茶 (すつとポーズ) センターは、品格で決まりますの。

全員、横一列に並ぶ。

玉露 (正座し、刀を抜くような所作) 拙者、玉露。静かなる湯に、そつと心ほどく茶。…よく、美紗子殿とご主人が、言葉もなく拙者をすすつておられた。湯気の向こうに、通じるものがあつたでござる。

刀を納める、皆拍手。

黒豆茶 (しくしくと泣く)

ジャスミン茶 えっ、泣いてる！

紅茶 ダーヅリンでございます。日曜の午後、まだ小さかった恵理ちゃんとアフタヌーンティーごっこ。小さな手でカップを持って、「おほほ♪」って、お紅茶こぼして…でも美紗子さん、すごく笑ってたわ。

ジャスミン茶 (「オリビアを聴きながら」を歌う。周りは釣られて手拍子) ↓ジャスミンティーはく眠り誘う薬♪

ほうじ茶 勝手に歌うな！

玄米茶

よっしゃ！毎朝の相棒、玄米茶です！おじいちゃんの湯呑みに、あたしをなみなみ注いで、焼き鮭と塩むすびで、にっこにこだったじゃん！美紗子さん、元気出しとくれよー！

ウーロン茶

脂っこい食卓の救世主！ウーロン茶アル！餃子まつりの夜、私はテーブルの主役だった！恵理ちゃん、タレをこぼして笑ってた！（カンフーの真似をし派手に転ぶ）：ワタシも滑ったアル！

ほうじ茶

どうだ！美紗子の様子、変わった？

玄米茶

（お茶たち、身を寄せ合いながら）だめ、全然気づいてない。

紅茶

ちよつと、そんなに近づかないで、香りが混ざるでしょ。

玉露

：いや、待て。この騒ぎで、我らから：香りが、立ち上っておる：！

ほうじ茶

え：！？

ジャスミン茶

香りは：記憶を運ぶ風：！

玄米茶

そうだ！この香りで、美紗子に届くはず！もつと出そう！思い出の匂い！！いっばい！！

玄米茶は跳ね回り、ジャスミン茶は熱唱し、ほうじ茶は「ちやつちやと行こう！茶だけに」などダジャレを言い、紅茶は優雅にステップ。ウーロン茶はカンフーポーズ。黒豆茶は体を震わせる。

黒豆茶

（訛りながら）わだす、汗かく。

ウーロン茶

何：？コノ、黒イ汗。スゴイ香り：。チョト失礼。（額を指で拭い、舐める仕草）：コレハ：！苦イ：！！

玄米茶

え、まさか：？

紅茶

まさか、珈琲：！アメリカ人がよく飲む、

黒豆茶

黒い、豆：。

ほうじ茶

そういうことだったのかー！！

皆、一瞬固まり、そして笑い出す。その笑い声が、茶棚の中に響く。下手から美紗子がゆっくりと再び登場。どこからともなく漂う香りに、ふと足を止める。

美紗子

：：あら。なんだろ、この匂い：。なんだか、懐かしいねえ。

美紗子、目を閉じ、ゆっくりと深呼吸をする。急須に手を伸ばし、お湯を沸かすためにコンロへと向かう。茶棚のお茶たちは、息をひそめてその様子を見守っている。

玉露

(小声で)：やった。香りが、届いた。

玄米茶

(嬉しそうに、しかし静かに)やったー！

美紗子は茶筒からお茶の葉を取り出し、急須に入れる。

美紗子が淹れたお茶をちゃぶ台に並べ、一人で座っている。その時、玄関の戸が開く音がする。

娘(声)

ただいまー！お母さん！

孫(声)

おばあちゃーん、いい匂いー！何飲んでるの？

美紗子

なんだい、急に：！もう、連絡くらいしておくれよ：。でも：よう来たね。よう来てくれたわ。

立ち上がり、茶碗を用意しながら

美紗子

ふとね、お茶が飲みたくなったんだよ。急に：思い出してきた。今は、お父さんもおらんし、みんな離れて暮らしてるけど：こうして顔を見て、一緒にお茶が飲める。それだけで十分だよ。

ちゃぶ台に湯呑みを並べる

美紗子

さ、熱いから気をつけて。ゆっくり飲んでいきなさい。

穏やかな笑い声が茶の間に響く。茶棚のお茶たちは、茶の間から聞こえてくる賑やかな笑い声に耳を傾けている。

紅茶

：良かったわ。美紗子さん、あんなに笑って：。

ほうじ茶

私たちの想い、ちゃんと届いたんだ。

玉露

：理屈で語れぬこともある。これは、心が呼んだ奇跡。

玄米茶

(小さく踊りながら)やったー！やったー！

黒豆茶

(満足そうに、ゆっくりと)：これにて、一件らく茶く。

お茶たちの嬉しそうな呟きとともに、茶の間から穏やかな笑い声が聞こえ続ける。